

WAMは福祉と医療の民間活動を応援します

令和3年3月18日  
 独立行政法人福祉医療機構  
 経営サポートセンター長 佐藤 肇  
 経営サポートセンター リサーチグループ  
 グループリーダー 石塚 敬之  
 担当 早川 (電話) 03-3438-9932  
 (FAX) 03-3438-0371

## 2019年度（令和元年度）決算 老人デイサービス（通所介護・認知症対応型通所介護） の経営分析参考指標の概要について

独立行政法人福祉医療機構では、福祉医療貸付事業の債権管理の一環として、毎年度、融資先からご提出いただく財務諸表等を基に、社会福祉法人や医療法人、福祉・医療施設等の経営状況について経営分析参考指標として集計・分析しています。

このたびは、2019年度の老人デイサービス（通所介護・認知症対応型通所介護）の経営分析参考指標の概要について、公表いたします。

〈経営分析参考指標〉 <https://www.wam.go.jp/hp/guide-keiei-keieiga-tabid-1976/>

### 1. 調査の概要

- 調査時点 毎年1回（決算データ）
- 集計施設 通所介護（4,172施設）、認知症対応型通所介護（560施設）
- 調査目的 機構融資先の債権管理の一環

※経営分析参考指標（2019年度決算分）（有料）の販売については、現在予約申込受付中です。

### 2. 2019年度決算の概要

#### <通所介護>

- 通所介護全体では、利用率は71.9%（前年度比+0.3ポイント）、サービス活動収益対サービス活動増減差額比率5.2%（前年度比+0.1ポイント）で、経常赤字施設割合は38.0%（前年度比△0.3ポイント）であり、ほぼ横ばいの経営状況であった。
- 事業形態別のサービス活動収益対サービス活動増減差額比率は、地域密着型3.5%（前年度比+0.4ポイント）、通常規模型4.3%（前年度比△0.3ポイント）、大規模型（Ⅰ）10.1%（前年度比+2.3ポイント）、大規模型（Ⅱ）11.0%（前年度比+1.5ポイント）で、いずれの事業形態も従事者1人当たり人件費の上昇（19千円～141千円の上昇）がみられた。

#### <認知症対応型通所介護>

- 利用率は64.9%（+2.3ポイント）、利用者1人1日当たりサービス活動収益は12,999円（前年度比+26円）、従事者1人当たり人件費は3,287千円（前年度比146千円）、サービス活動収益対人件費率は前年度とほぼ同水準の66.1%（前年度比△0.1ポイント）であった。
- サービス活動収益対サービス活動増減差額比率は12.4%（前年度比+0.6ポイント）で、経常赤字施設割合は28.6%（前年度比△2.1ポイント）であり、経営状況はやや改善していた。

以上